

# かんかくをひらき、 こころをひらく。VOL. 02

障がいがあるアーティストのクオリティの高い作品をご覧になったことがありますか？これまで既存の枠組みで芸術と評価されなかった表現に20世紀の終わりごろから光が当たり始めました。なぜこのような作品が生まれてくるのか？本展では、作品がその世界の秘密を解き明かせるように、アーティストの制作や日常の写真、テキストパネルも合わせて展示をする新しい試みの展覧会です。



M.fujita [アナログ]  
キュレーター：中津川浩章

2023  
6.21<sub>水</sub>  
↓  
6.25<sub>日</sub>

横浜市神奈川区民文化センター

かなっくホール ギャラリーA・B (当館3F)

[開催時間] 10:00 → 17:00 (最終入場 16:30) 鑑賞無料

●最終日 10:00~16:00 [17:00以降に入館をご希望の方は、電話でお申込み下さい。]

かなっくホールチケットデスク 045-440-1219 (受付時間/10:00~20:00) ※休館日除く

▶休館日は毎月第3月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

[参加施設] ○アトリエ言の葉(川崎市) ○アトリエそらのいろ(鎌倉市)



【キュレーター】

美術家/アートディレクター  
表現活動研究所ラスコー代表

なかつがわ ひろあき  
中津川 浩章

アーティストとしての制作活動と同時に、多様な分野で社会とアートをつなぐ活動に取り組む。アートワークショップ、障がい者のためのアートスタジオディレクション、展覧会企画・プロデュース、キュレーション、選考委員など全国で多数務める。NPO 法人エイブル・アート・ジャパン 理事、社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル 理事、一般社団法人Get in touch 理事。

▶ 関連企画 「僕らの劇場ワークショップ」特別編 感じたカタチ、発見～自分にしか気付けない形を描いてみよう～◀

6月24日(土)13:00~15:00(15分前受付)

〈会場〉ギャラリーA

〈講師〉椎橋げんき(白百合女子大学准教授)

〈定員〉10名 〈対象〉横浜市内の小学3年生から中学3年生まで



参加無料(要事前申込制)

※定員に達し次第、受付を終了いたします。

【お問合せ・お申込み】

✉ kanack@kanack-hall.info

障がい者アートを通じて現代アート鑑賞の面白さを知りましょう♪

主催 横浜市神奈川区民文化センターかなっくホール 指定管理者 後援 神奈川区

# アトリエ 言の葉 (川崎市)

川崎市宮前区にあるアトリエ言の葉です。知的・発達・精神・身体など様々な障がいの方が通う通所施設です。施設開所から10年が経ちました。現在、23名の方が通って来ています。作業内容は、絵画制作や手芸、彫刻・立体制作、小説書きなど、それぞれが得意で好きなことに取り組んでいます。完成した作品は、SNSや作品展で多くの方に観ていただけるように発信しています。作品展は年2回開

④

⑤